

年度	2014年度	開講部局	教養教育
講義コード	51001001	科目区分	パッケージ別科目
授業科目名	教育と制度[P1A,PN4]		
授業科目名 (フリガナ)	キョウイクトセイド		
英文授業科目名	Education and Educational System		
担当教員名	山内 規嗣		
担当教員名 (フリガナ)	ヤマウチ ノリツグ		
研究室の場所		内線番号	
E-mailアドレス			
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 前期
曜日時限	金 5 時限, 6 時限	講義室	教K203
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	講義、ディスカッション
単位	2	週時間	2
対象学生	1年次生		
授業のキーワード	教育、社会、制度		
教職専門科目		教科専門科目	
関連するプログラム			
教養教育又は パッケージの中での この授業の位置づけ	第1パッケージ：社会のしくみと科学 社会のしくみの中でも特に教育制度を中心にしながら、現代社会を科学的に読み解く見方について学習する。		
学習の成果	学校教育制度の目的や実態について学び、現代の教育問題を読み解く力を身につける。		
授業の目標・概要等	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育制度について理解を深める。 ・現代の教育問題について、トピックを取り上げながら考察する。 		
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション</p> <p>第2回 制度としての学校（1）</p> <p>第3回 制度としての学校（2）</p> <p>第4回 教育課程と学習指導要領（1）</p> <p>第5回 教育課程と学習指導要領（2）</p> <p>第6回 教育法規と学校（1）</p> <p>第7回 教育法規と学校（2）</p> <p>第8回 家庭と学校</p> <p>第9回 地域社会と学校</p> <p>第10回 生涯学習社会と学校</p> <p>第11回 学校化社会と「脱学校論」</p> <p>第12回 学力論争と学校（1）</p> <p>第13回 学力論争と学校（2）</p> <p>第14回 現代日本の教育制度改革</p> <p>第15回 講義のまとめ</p> <p>レポートで評価する。</p>		
教科書・参考書等	講義の際に資料を配付する。		
授業で使用する メディア・機器等	配付資料，映像（ビデオ/PC/その他画像資料）		
予習・復習への アドバイス	第1回-第14回：配布した資料を読むとともに、関連文献を図書館等で探して読んでおき、適宜ディスカッションが行えるように準備する。		
履修上の注意 受講条件等			
成績評価の基準等	授業の平常点30%程度、レポート70%程度により評価する。		
メッセージ			
その他	【パッケージ別科目共通資料掲載場所（もみじTop内）： https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/kyouyou/package.html 】		

学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。
 回答に対しては教員からコメントを入力し、改善につなげていきます。
 なお、受講者が著しく少ない場合などに、アンケートを実施しないときがあります。

年度	2014年度	開講部局	教養教育
講義コード	51002001	科目区分	パッケージ別科目
授業科目名	自動車産業と日本経済[P1A,PN4]		
授業科目名 (フリガナ)	ジドウシャサンギョウトニホンケイザイ		
英文授業科目名	Automobile Industries and Japanese Economy		
担当教員名	山崎 修嗣		
担当教員名 (フリガナ)	ヤマザキ シュウジ		
研究室の場所		内線番号	
E-mailアドレス			
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 前期
曜日時限	金 5 時限, 6 時限	講義室	総K107
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	画像を利用した講義を中心に行う
単位	2	週時間	2
対象学生			
授業のキーワード	日本自動車産業 産業政策 グローバル化		
教職専門科目		教科専門科目	
関連するプログラム			
教養教育又は パッケージの中での この授業の位置づけ	社会のしくみを経済の視点から考える		
学習の成果			
授業の目標・概要等	日本自動車産業の発展を中心に戦後の経済発展について理解する。		
授業計画	1 ガイダンス 2 戦後復興期 3 日本の戦後改革と産業政策－競争力の規制と促進 4 国産乗用車の育成 5 乗用車産体制確立期 6 国際競争力確立期 7 貿易摩擦と海外進出開始(1980年代) 8 グローバル展開の本格化(1990年代) 9 新興国対応の本格化(2000年代) 10 自動車メーカーと部品メーカーの関係変化 - トヨタ・ホンダー 11 自動車メーカーと部品メーカーの関係変化 - 日産・マツダー 12 次世代車へのメーカー対応 種類と課題(メリット・デメリット) 13 次世代車へのメーカー対応 部品メーカーの対応 14 まとめ 中間・期末レポート、試験は行わない。		
教科書・参考書等	テキストは授業開始時に指示する。		
授業で使用する メディア・機器等	テキスト, 論文, 配付資料, 映像 (ビデオ/PC/その他画像資料)		
予習・復習への アドバイス	テキスト・配布資料を利用して、予習・復習してください。 詳細は、授業最初のガイダンスで説明します。		
履修上の注意 受講条件等	特になし。		
成績評価の基準等	中間・期末レポートによる。		
メッセージ			
その他	【受講希望者が250人を超えたときは受講者抽選を行う可能性があります。】 【パッケージ別科目共通資料掲載場所 (もみじTop内) : https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/kyouyou/package.html 】		

学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。
回答に対しては教員からコメントを入力し、改善につなげていきます。
なお、受講者が著しく少ない場合などに、アンケートを実施しない場合があります。

年度	2014年度	開講部局	教養教育
講義コード	51003001	科目区分	パッケージ別科目
授業科目名	心と社会[P1B,PN4]		
授業科目名 (フリガナ)	ココロトシャカイ		
英文授業科目名	Mind and Society		
担当教員名	坂田 桐子		
担当教員名 (フリガナ)	サカタ キリコ		
研究室の場所		内線番号	
E-mailアドレス			
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 前期
曜日時限	火 3 時限, 4 時限	講義室	総K313
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	講義中心、パワーポイント
単位	2	週時間	2
対象学生			
授業のキーワード	社会, 制度, 社会構造, 人間, 影響過程		
教職専門科目		教科専門科目	
関連するプログラム			
教養教育又は パッケージの中での この授業の位置づけ	パッケージ名:社会のしくみと科学 人は社会を形成し、変えていくと同時に、社会によって自分が作られ、変えられる存在である。人の行動と社会との間に成立する力動的・心理的なルールを手掛かりにして、社会の構造にアプローチする。		
学習の成果	個人の視点から社会を理解すること、また逆に、社会の視点から個人を理解することの重要性を認識し、それらのために必要な理論的枠組みについての理解が進む。		
授業の目標・概要等	人が社会構造の中で担う様々な役割が個人にどのように内在化されるのか、またそれが対人関係・集団・組織・大衆といった局面でどのように現れ影響しあうのかについて考究する。		
授業計画	第1回 序：社会と人間 第2回 社会と個人(1)：社会的役割と自己 第3回 社会と個人(2)：社会に見せる自己（自己呈示と自己開示） 第4回 社会的影響の諸相(1)：社会的影響のやりとりとしての対人関係（社会的勢力） 第5回 社会的影響の諸相(2)：意図的で明示的な影響（説得と納得） 第6回 社会的影響の諸相(3)：意図的で隠蔽的な影響（巧妙な影響） 第7回 社会的影響の諸相(4)：意図せざる影響 第8回 集団と個人(1)：集団構造の中の個人 第9回 集団と個人(2)：多数派と少数派の影響過程 第10回 集団と個人(3)：集団が誤るとき（集団的浅慮） 第11回 集団と個人(4)：組織・集団をコントロールする（リーダーシップ） 第12回 組織されていない人々の行動(1)：社会的ジレンマ 第13回 組織されていない人々の行動(2)：流言とうわさ 第14回 組織されていない人々の行動(3)：世論 第15回 まとめ 期末試験を実施する。		
教科書・参考書等	毎回配布する講義資料とパワーポイントによって講義を進める。 授業の中で、簡単な実習（ゲームなど）を行うこともある。 参考書等は、授業の中で随時指示する。		
授業で使用する メディア・機器等	配付資料，パワーポイント		
予習・復習への アドバイス	第1回 社会と個人とのつながりについて考えてみよう。 第2回 社会的役割によって個人がどのように影響されているのかを理解しよう。 第3回 人が社会に対して自分をどのように「見せて」いるのかを理解しよう。 第4回 「影響力」の基盤とは何かを理解しよう。 第5回 説得的コミュニケーションについて理解しよう。 第6回 他者に影響を及ぼす巧妙な要請技法について理解しよう。 第7回 行為者が意図しなくても他者に影響を及ぼす場合があることを理解しよう。		

<p>予習・復習への アドバイス</p>	<p>第8回 集団構造とそれが個人に及ぼす影響について理解しよう。 第9回 集団内の多数派と少数派の相互影響過程について理解しよう。 第10回 集団内外の影響過程の結果として生じる集団の過ち（集団的浅慮）について理解しよう。 第11回 集団や組織におけるリーダーシップの重要性について理解しよう。 第12回 個々人の合理的な行動が社会や集団全体に不利益をもたらす、結局は自分の首を締めてしまう社会的ジレンマ現象のしくみを理解しよう。 第13回 流言やうわさの拡延によって組織されていない多数の人々の間に一定の集合現象が生み出されるメカニズムを理解しよう。 第14回 世論と社会参加について理解しよう。</p> <p>毎回の授業で学んだ知識に基づいて、自分や社会を見つめ直してみよう。</p>
<p>履修上の注意 受講条件等</p>	
<p>成績評価の基準等</p>	<p>期末試験（70%程度）と受講態度（30%程度）によって総合的に評価する。</p>
<p>メッセージ</p>	
<p>その他</p>	<p>【パッケージ別科目共通資料掲載場所（もみじTop内）：https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/kyouyou/package.html】</p>
<p>学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。 回答に対しては教員からコメントを入力し、改善につなげていきます。 なお、受講者が著しく少ない場合などに、アンケートを実施しないときがあります。</p>	

年度	2014年度	開講部局	教養教育
講義コード	51004001	科目区分	パッケージ別科目
授業科目名	産業と技術[P1B,PN4]		
授業科目名 (フリガナ)	サンギョウトギジュツ		
英文授業科目名	Industry and Technology		
担当教員名	河合 研至		
担当教員名 (フリガナ)	カワイ ケンジ		
研究室の場所		内線番号	
E-mailアドレス			
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 前期
曜日時限	火 3 時限, 4 時限	講義室	総K314
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	講義中心
単位	2	週時間	2
対象学生	現代の産業と技術に関心を持つ学生で、志望する専門は関係ない。		
授業のキーワード	産業、社会、先端材料、先端技術、技術開発、技術革新、工学		
教職専門科目		教科専門科目	
関連するプログラム			
教養教育又は パッケージの中での この授業の位置づけ	第1パッケージ:社会のしくみと科学 この授業では、これまでの技術革新や産業構造の変化、これからの技術、それらが社会のしくみへ与える影響を概観する。これはパッケージの中で、社会のしくみと科学の在り方を正確に理解することに役立ち、同時に、その周辺にある様々な問題を議論する上で必要な基礎知識を提供する。		
学習の成果			
授業の目標・概要等	技術の進歩がこれまで産業や社会構造にどのような変化をもたらしたかを認識し、先端的な技術が今我々の生活にどのような影響を与えているかを考える。		
授業計画	第1回 ガイダンス 第2回 プラズマ技術とエネルギー源開発(1) 第3回 プラズマ技術とエネルギー源開発(2) 第4回 事故と技術発展の歴史(1) 第5回 事故と技術発展の歴史(2) 第6回 インターネットと産業 第7回 生活を支えるエレクトロニクス 第8回 情報化社会と画像処理技術 第9回 最適化ソリューション 第10回 化学工業の発展と弊害及び解決法(1) 第11回 化学工業の発展と弊害及び解決法(2) 第12回 現代社会を支える高分子(1) 第13回 現代社会を支える高分子(2) 第14回 輸送機器産業の技術(1) 第15回 輸送機器産業の技術(2) 課題やレポート、試験については、各回の授業で説明する。		
教科書・参考書等	講義形式：講義中心。特にテキスト等は指定しない 使用する視聴覚教材の種類：パワーポイント等		
授業で使用する メディア・機器等	配付資料，スライド（PC）		
予習・復習への アドバイス	第1回 講義全体のガイダンスとして、産業と技術の問題について総合的に解説する。 2-15回 色々な産業分野からトピックスを取り上げ、現代の産業と技術を考える。 講義毎に資料が提供されるので、それらを読んで十分な理解をすること。各分野の専門的な知識は必要とせず、講義を聴き、資料を参照すれば、各産業分野の問題点等が理解できるように配慮している。		
履修上の注意 受講条件等	現在の様々な分野の技術と産業について興味ある課題が豊富に提供されるので、現代の産業と技術の動向に関心を持つ学生の受講を勧める。専門は問いません。		
成績評価の基準等	各担当教員の講義内容に関してレポートまたは試験を課し、担当時間数の重みを掛けて合計したものが60%以上を合格とする。		
メッセージ			
その他	【パッケージ別科目共通資料掲載場所（もみじTop内）： https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/kyouyou/package.html 】		
学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。 回答に対しては教員からコメントを入力し、改善につなげていきます。 なお、受講者が著しく少ない場合などに、アンケートを実施しないときがあります。			

年度	2014年度	開講部局	教養教育
講義コード	51005001	科目区分	パッケージ別科目
授業科目名	市民生活における規範のゆらぎ[P1B,PN5]		
授業科目名 (フリガナ)	シミンセイカツニオケルキハンノユラギ		
英文授業科目名	Disturbance of Rules in Civil Life		
担当教員名	高橋 憲雄		
担当教員名 (フリガナ)	タカハシ ノリオ		
研究室の場所		内線番号	
E-mailアドレス			
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 前期
曜日時限	火 3時限, 4時限	講義室	総K109
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	講義中心
単位	2	週時間	2
対象学生			
授業のキーワード	社会のしくみ、市民社会、合理的思考、規範		
教職専門科目		教科専門科目	
関連するプログラム			
教養教育又は パッケージの中での この授業の位置づけ	第1パッケージ:社会のしくみと科学		
学習の成果			
授業の目標・概要等	社会のしくみとそこで生きるわたしたちの生活のあり方について、倫理的な知見に立って主題的に考察する。		
授業計画	第1回 イン트로ダクション。 第2回 近代市民社会の成り立ちについて 第3回 合理性の支配、近代化の意味 第4回 近代市民社会を支える人間理解、生まれながらの自由と平等 第5回 民主主義の理念について 第6回 理念と現実の乖離、理念のもつイデオロギー性について 第7回 規範について 第8回 管理主義的な社会体制について 第9回 管理主義の問題、政治における汚い手 第10回 管理主義の問題、自己不透明性 第11回 社会契約の物語性について 第12回 個と全体について 第13回 公と私 第14回 市民概念の変遷 第15回 まとめ		
教科書・参考書等	参考文献については授業の中で紹介していく		
授業で使用する メディア・機器等	配付資料		
予習・復習への アドバイス	授業内容についての批判的な考察をおこなうこと		
履修上の注意 受講条件等			
成績評価の基準等	期末試験80%、その他20%		
メッセージ			
その他	【パッケージ別科目共通資料掲載場所（もみじTop内）： https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/kyouyou/package.html 】		

学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。
回答に対しては教員からコメントを入力し、改善につなげていきます。
なお、受講者が著しく少ない場合などに、アンケートを実施しないときがあります。

年度	2014年度	開講部局	教養教育
講義コード	51006001	科目区分	パッケージ別科目
授業科目名	生活から見た日本の近代[P1B,PN5]		
授業科目名 (フリガナ)	セイカツカラミタニホンノキンダイ		
英文授業科目名	The Modern Japan in view of Civil Life		
担当教員名	布川 弘		
担当教員名 (フリガナ)	ヌノカワ ヒロシ		
研究室の場所		内線番号	
E-mailアドレス			
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 前期
曜日時限	金 7時限,8時限	講義室	総K203
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	講義中心。WebCTを使用した課題提出、ディスカッションなどを利用。
単位	2	週時間	2
対象学生			
授業のキーワード	社会のしくみ 市民生活 制度 心性 都市		
教職専門科目		教科専門科目	
関連するプログラム			
教養教育又は パッケージの中での この授業の位置づけ	第1パッケージ：社会のしくみと科学 日本の近代社会の形成を、長期的な変動という視野に立って、都市の大衆の生活を取り巻く社会関係と人々の心性に焦点をあてながら考察する。		
学習の成果	教養（パッケージ別科目） 学習の成果 都市、規範、生活世界などのキーワードを介して、パッケージ内の他の授業科目との関連を意識し、そのことを通して、民俗学、文化人類学、社会学、行政学、建築学などの方法・成果と、歴史学の方法・成果との融合の仕方を学び、学際的な視野を獲得する。さらに、新しい歴史学の方法を学ぶことによって、総合性のおもしろさを体験し、総合的な視野を獲得する。		
授業の目標・概要等	市民生活と社会の結びつきを、社会の基層とそこにおける人々の生活の歴史的な変化を解明することによって考察する。		
授業計画	第1回 ガイダンス 講義の構成と意図 第2回 中世前期の都市社会 - 「無縁」の原理 第3回 中世後期の都市社会 - 所有と定着のはじまり 第4回 戦国大名と都市政策 - 「無縁」を上から解体 第5回 一向一揆と寺内町の世界 - 「無縁」の世界の最後のよりどころ 第6回 信長と一向一揆 第7回 信長の都市政策 - 世俗権力による新しい都市の創出 第8回 秀吉と首都 第9回 秀吉の「見せる政治」 - 「無縁」の世界の解体と身分制 第10回 幕藩体制の構造と都市 - 城下町と大坂 第11回 三都の空間構造 - 現代につながる都市の形成 第12回 都市社会の特質 - 町とイエ 第13回 都市社会の構造変化 - イエの解体と下層社会 第14回 都市における「生存の危機」 - 「無縁」と家族 第15回 明治維新と都市		
教科書・参考書等	講義中心;講義のレジユメの有 使用する視聴覚教材の種類;DVD・パワーポイント等 参考書は随時紹介する。		
授業で使用する メディア・機器等	テキスト, 配付資料, 音声教材, 映像(ビデオ/PC/その他画像資料)		

予習・復習への アドバイス	第1回 パッケージのねらいとこの講義の関連について確認してみる。 第2回 「無縁」の原理とは何か、よくわかるまで考えてみる。 第3回 「無縁」の世界が内側からくずされていくことの意味を確認してみる。 第4回 「無縁」の世界を上から解体していくための政策を把握してみる。 第5回 寺内町と「無縁」の世界との関わりについて、考えてみる。 第6回 信長が宗教権力の何を問題にしたのか、自分なりにまとめてみる。 第7回 信長が作り出した安土という都市の画期性について、確認してみる。 第8回 秀吉が信長のどのような都市政策をうけつたのか、箇条書きにしてみる。 第9回 秀吉が「黄金太閤」と呼ばれる理由を考えてみる。 第10回 幕藩体制を支える柱と都市との関係について、簡単にまとめてみる。 第11回 江戸や大坂が現代の東京と大阪につながる面を整理してみる。 第12回 「都市をイエが支えていた」という意味について、まとめてみる。 第13回 イエの解体と下層社会の拡大とをしっかりと把握してみる。 第14回 「無縁の復活」とは何か、自分なりにまとめてみる。 第15回 明治維新を支えた社会的なエネルギーの源を、しっかり考えてみる。 第16回 試験
履修上の注意 受講条件等	特になし。
成績評価の基準等	定期試験70%、平常点30%により評価する。
メッセージ	近代のイメージを変えてみましょう。
その他	【パッケージ別科目共通資料掲載場所（もみじTop内）： https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/kyouyou/package.html 】
学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。 回答に対しては教員からコメントを入力し、改善につなげていきます。 なお、受講者が著しく少ない場合などに、アンケートを実施しないときがあります。	

年度	2014年度	開講部局	教養教育
講義コード	51007001	科目区分	パッケージ別科目
授業科目名	ヨーロッパ近代と市民社会[P1A,PN5]		
授業科目名 (フリガナ)	ヨーロッパキндаイトシミンシャカイ		
英文授業科目名	The Modern Europe and Civil Society		
担当教員名	長田 浩彰		
担当教員名 (フリガナ)	ナガタ ヒロアキ		
研究室の場所		内線番号	
E-mailアドレス			
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 前期
曜日時限	火 1時限, 2時限	講義室	総K210
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	講義中心、板書多用
単位	2	週時間	2
対象学生			
授業のキーワード	社会のしくみ、科学、市民生活、心性、家族		
教職専門科目		教科専門科目	
関連するプログラム			
教養教育又は パッケージの中での この授業の位置づけ	第1パッケージ:社会のしくみと科学 人間が合理的に作り出した社会のしくみが、逆に市民生活を管理して縛り、心性に影響を与え、新たな規範や基準を人びとに押しつける。この状況は、18世紀末のフランス革命の中ではっきりと現れてくる。本講義は、社会のしくみ、科学、市民生活、心性、家族というキーワードで、パッケージ内のその他の科目とつながっている。		
学習の成果	今、これからの市民生活と科学の関係や社会のあり方を、様々な分野からもう1度真剣に考え直すべき時が来ています。フランス革命に至るプロセスは、現在の日本の社会制度改革の道筋と似ています。日本の現在・未来を考える手段として、過去の歴史から学ぶという手段を、受講生に身につけてもらいます。		
授業の目標・概要等	18世紀のフランス史を、人々の生活世界(市民生活)や心性の変化に注目し、革命以前のフランス社会と革命の展開を題材として講義する。まず、出版物のジャンルの変化から、当時の人々の来世から現世への関心の移動を確認し、その関心の移動から、啓蒙思想の諸潮流の発生を説明する。そして、ブルジョアの実生活を見ることで、彼らと貴族との間に、従来言われた階級闘争がなかったにも拘わらず、なぜ革命の発生に至ったかを考察する。それから、ブルジョワや民衆の思惑が交差する革命のプロセスを概観し、社会のしくみがどう変わっていったかを理解させる。		
授業計画	第1回 オリエンテーション 第2回 18世紀ヨーロッパの物質的变化 第3回 現世への関心の増大と知識の大衆化(出版物の変化を通じて) 第4回 識字率の推移と初等教育 第5回 キリスト教離れと進歩の観念 第6回 啓蒙思想の諸潮流(1) 第7回 啓蒙思想の諸潮流(2) 第8回 フランス革命の解釈をめぐる 第9回 革命の原因論 第10回 革命の発生へ 第11回 革命のプロセス(1) 第12回 革命のプロセス(2) 第13回 革命のプロセス(3) 第14回 革命のプロセス(4) 第15回 まとめ 毎回、キーワードに関する質問を出します。講義の終了時に記入して提出してください。結果をまとめたものは、次回の講義の最初で紹介いたします。		
教科書・参考書等	講義形式(講義中心;板書多用;教科書なし・プリント・講義のレジュメ毎回あり) 使用する視聴覚教材の種類(ビデオ等) ビデオ・DVD使用の場合(本数1本;1回の上映時間:30分程度) ビデオ・DVDの文字情報(字幕・内容解説書の有無:なし)		
授業で使用する メディア・機器等	配付資料, 映像(ビデオ/PC/その他画像資料)		
予習・復習への アドバイス	第1回 歴史の学習は、年号の暗記と同じではありません。過去の理解なのです。 第2回 18世紀の物質的变化と精神的変化が、不可分の関係にあることがわかりましたか? 第3回 過去の人びとの興味関心が出版物からわかることを理解できましたか? 第4回 初等教育の内容は「キリスト教化」だったことがわかりましたか? 第5回 教育にもかかわらずキリスト教離れが進んだことがわかりましたか? 第6回 改革を唱える人の立場によって、主張内容が異なることがわかりましたか? 第7回 同じ社会契約論でも、革命擁護から絶対王政擁護、人民主権論といったふうに、全く逆の主張が出てくることがわかりましたか? 第8回 主流的な解釈を批判した修正主義派の人びとの主張が理解できましたか?		

予習・復習へのアドバイス	<p>第9回 修正主義の主張からは、革命の発生の説明が困難ですが、どう理解すべきかわかりましたか？</p> <p>第10回 不満を持った人びとを革命に追いやる「きっかけ」がわかりましたか？</p> <p>第11回 1789年の秋までの状況がわかりましたか？</p> <p>第12回 1792年8月までの状況の変化が理解できましたか？</p> <p>第13回 ジャコバン独裁の成立と崩壊の状況がわかりましたか？</p> <p>第14回 フランス革命の収束面や革命での女性の役割がわかりましたか？</p> <p>第15回 フランス革命1つだけで、近代への転換が生じたわけではなかったことがわかりましたか？</p>
履修上の注意 受講条件等	<p>毎回、講義に係るキーワードを取り上げ、それに関する授業内容について質問します。講義終了時に、各人に記入回答を提出してもらいます。その結果は、次回の講義で紹介します。</p>
成績評価の基準等	<p>キーワードに関する論述形式の期末試験と、計4回、授業の始まりに行うノート持ち込み可の小テストによって評価する。評価の比率は、試験60%、小テスト40%程度となる。</p>
メッセージ	<p>パッケージ科目は、キーワードが命です。それによって、パッケージ内の他の授業との関連性が生まれるからです。従って、毎回キーワードに関する質問を用意し、それに答えてもらうことで、講義が一方通行にならないよう工夫します。</p>
その他	<p>【パッケージ別科目共通資料掲載場所（もみじTop内）：https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/kyouyou/package.html】</p>
<p>学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。 回答に対しては教員からコメントを入力し、改善につなげていきます。 なお、受講者が著しく少ない場合などに、アンケートを実施しない場合があります。</p>	

年度	2014年度	開講部局	教養教育
講義コード	51008001	科目区分	パッケージ別科目
授業科目名	生活をとりまく家族・地域・産業[P1A,PN5]		
授業科目名 (フリガナ)	セイカツトリマクカゾク・チイキ・サンギョウ		
英文授業科目名	Family, Regional Society, Industry Surrounding Civil Life		
担当教員名	秋葉 節夫		
担当教員名 (フリガナ)	アキバ セツオ		
研究室の場所		内線番号	
E-mailアドレス			
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 前期
曜日時限	金 5 時限, 6 時限	講義室	総K106
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	講義中心
単位	2	週時間	2
対象学生			
授業のキーワード	社会のしくみ、市民生活、地域社会、産業、家族		
教職専門科目		教科専門科目	
関連するプログラム			
教養教育又は パッケージの中での この授業の位置づけ	第1パッケージ：社会のしくみと科学 市民生活を構成する基本的領域としての家族、地域、産業は、それぞれ同一パッケージを構成する経済、政治、歴史などと関わりがある。そこでこうした点にも配慮しながら、少子高齢化の中での家族の仕組み・構造、都市化の中での地域社会の仕組み・構造、そして産業の中での人間の問題をとりあげる。		
学習の成果	市民生活を構成する基本的領域としての家族、地域、産業の構造と変動がわかる。		
授業の目標・概要等	人々の市民生活を構成する基本的領域として、家族、地域（都市と農村）、産業がある。これらの基本的領域が、どのような仕組みによって成り立っているのか。また、それはどのような変化の過程にあるのか。こうしたことを明らかにすることに即して講義を構成する。		
授業計画	<p>第1回はじめに 第2回家族という用語 第3回少子化と社会 - 家族の形成 - 第4回家族の構成と子供の社会化 第5回中高年期の家族 - 家族関係の再編 - 第6回老年期の家族 第7回家族の諸相 - 家族の変動 - 第8回地域社会、コミュニティ、ボランティア 第9回地域社会と住民参加 第10回地域社会の成熟化 第11回地域社会とグローバリ化 第12回勤労者の生活と意識 第13回高齢者の就業と生活 第14回世界の中の日本 第15回まとめ</p> <p>定期試験を実施する。</p>		
教科書・参考書等	<p>1、朝倉尚・布川弘・その他編「制度と生活世界」培風館、2005年 2、森岡清美・望月崇著「新しい家族社会学」培風館、2010年 3、犬塚先編「新しい産業社会学」有斐閣、2010年 4、藤田弘夫「都市の論理」中央公論社、2008年 5、森岡清志「都市社会の人間関係」放送大学教育振興会、2005年 6、阿藤誠「現代の人口学 - 少子高齢化社会の基礎知識 - 」日本評論社、2007年 7、高橋勇悦監修「21世紀の都市社会学」学文社、2009年</p>		
授業で使用する メディア・機器等	テキスト、朝倉尚・布川弘・その他編「制度と生活世界」培風館、2005年		
予習・復習への アドバイス	第1回社会の仕組みについて考える。第2回家族について考える。第3回少子化について考える。第4回子供の社会化について考える。第5回中高年者について考える。第6回高齢者について考える。第7回家族の変動について考える。第8回コミュニティとボランティアについて考える。第9回住民参加について考える。第10回地域の成熟について考える。第11回グローバリ化について考える。第12回勤労者の生活意識について考える。第13回高齢者の就業について考える。第14回世界の中での日本の役割について考える。第15回家族・地域・産業について考える。		
履修上の注意 受講条件等			
成績評価の基準等	定期試験80%、履修態度20%		
メッセージ	家族、地域、産業に関心のある方の受講を歓迎します。		

その他	【パッケージ別科目共通資料掲載場所（もみじTop内）： https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/kyouyou/package.html 】
<p>学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。 回答に対しては教員からコメントを入力し、改善につなげていきます。 なお、受講者が著しく少ない場合などに、アンケートを実施しない場合があります。</p>	

年度	2014年度	開講部局	教養教育
講義コード	51009001	科目区分	パッケージ別科目
授業科目名	市民生活と物理[P1A,PN5]		
授業科目名 (フリガナ)	シミンセイカットブツリ		
英文授業科目名	Civil Life and Physics		
担当教員名	宗尻 修治		
担当教員名 (フリガナ)	ムネジリ シュウジ		
研究室の場所		内線番号	
E-mailアドレス			
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 前期
曜日時限	火 1時限, 2時限	講義室	総K107
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	おもにパソコンによるスライドを用いて講義します。
単位	2	週時間	2
対象学生			
授業のキーワード	科学、科学・技術、物理、生活の中の科学		
教職専門科目		教科専門科目	
関連するプログラム			
教養教育又は パッケージの中での この授業の位置づけ	第1パッケージ：社会のしくみと科学 社会のしくみや生活に大きな影響をもたらす 自然現象、科学技術、工業製品などを、物理学の視点で見えていきます。		
学習の成果			
授業の目標・概要等	日常生活に身近な様々な現象を、物理学の視点で見えていきます。 物理で考えることの楽しみを味わうことを目標にします。		
授業計画	<p>第1回 ガイダンス。 エアコン、薪ストーブ、断熱材、超音波診断、電磁調理器 人工衛星、原子力発電、太陽光発電、ハイブリッドカーなど、社会のしくみに関わる物理を学ぶ。</p> <p>第2回 エネルギー 第3回 エネルギーとパワー 第4回 エネルギーとパワー。演示実験（水素の爆発）</p> <p>第5回 原子。Poweres of ten の鑑賞 第6回 原子と熱。演示実験（圧縮発火） 第7回 宇宙 第8回 人工衛星 第9回 前半まとめ。学生のコメントなどを紹介 第10回 核と放射能 第11回 核と放射能 第12回 連鎖反応、原子炉、原子爆弾 第13回 連鎖反応、原子炉、原子爆弾 第14回 学生のコメント紹介 第15回 まとめ</p>		
教科書・参考書等	教科書は使用しない。 参考書：R A Muller 著 Physics and Technology for Future Presidents, Princeton		
授業で使用する メディア・機器等	配付資料，パソコン，プロジェクター		
予習・復習への アドバイス	いずれの回も、予習は必要ありません。		
履修上の注意 受講条件等			
成績評価の基準等	授業への参加態度およびレポート50%、期末試験50%		
メッセージ	生活に身近な様々な現象を扱います。物理に苦手意識のある人、文系の人を歓迎します。		
その他	【受講希望者が250人を超えたときは受講者抽選を行う可能性があります。】 【パッケージ別科目共通資料掲載場所（もみじTop内）： https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/kyouyou/package.html 】		

学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。
回答に対しては教員からコメントを入力し、改善につなげていきます。
なお、受講者が著しく少ない場合などに、アンケートを実施しない場合があります。

年度	2014年度	開講部局	教養教育
講義コード	51010001	科目区分	パッケージ別科目
授業科目名	アジアの社会史[P1A,PN7]		
授業科目名 (フリガナ)	アジアノシャカイシ		
英文授業科目名	History of Asian Society		
担当教員名	丸田 孝志		
担当教員名 (フリガナ)	マルタ タカシ		
研究室の場所		内線番号	
E-mailアドレス			
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 前期
曜日時限	金 5 時限, 6 時限	講義室	総K204
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	講義中心
単位	2	週時間	2
対象学生			
授業のキーワード	社会 習慣 心性 伝統と近代 国民国家		
教職専門科目		教科専門科目	
関連するプログラム			
教養教育又は パッケージの中での この授業の位置づけ	パッケージ名：社会のしくみと科学 現代の文明と伝統の関係を、歴史的な視点、国際的な視点から考察する科目である。		
学習の成果	以下の3点についての思考力を養う。 近代における文化表象を通じたアイデンティティ形成の問題を世界史的な視点で考える力、 社会の規範・一体性の創造および摩擦・分裂の醸成に関わる文化表象の作用を、政治権力との関係で考える力、 民族主義、国家主義、国民主義など複雑な要素で構成されるナショナリズムの性格について考える力。		
授業の目標・概要等	19世紀後半から20世紀初めは、帝国主義の非欧米世界への侵略と進化論の出現を背景に、優勝劣敗・適者生存を唱える社会進化論が隆盛した時代であり、非欧米諸国は存亡の危機意識に強く突き動かされながら列強に範をとった近代化政策を推進した。しかし、一方で、近代の政治権力は、社会への権力の浸透を支える国民意識を創出するため、固有の文化を基礎とした新たな「伝統」を創造し、国民の儀礼を構築する必要にも迫られた。近代化と「民族復興」の課題の中で、国家・民族のアイデンティティが模索される状況を、近代中国の身体、儀礼、象徴を素材として考察する。		
授業計画	第1回 導入:文化的国民統合と近代中国 第2回 身体装飾の社会的意義 第3回 近代中国における身体(1) 弁髪と断髪 第4回 近代中国における身体(2) 纏足 第5回 近代中国における身体(3) 礼服 民国の礼服 第6回 近代中国における身体(4) 礼服 中山服 第7回 近代中国における身体(5) 礼服 旗袍 第8回 近代中国における身体(6) 礼服 民族衣装 第9回 近代中国の象徴(1) 清朝の国旗 第10回 近代中国の象徴(2) 革命派・北京政府の国旗 第11回 近代中国の象徴(3) 国民政府の象徴 第12回 近代中国の象徴(4) 日本傀儡政権の象徴 第13回 近代中国の象徴(5) 中共政権の象徴 第14回 近代中国の象徴(6) 中共政権の象徴 第15回 まとめ		
教科書・参考書等	講義形式：講義中心 講義レジュメ有 使用する視聴覚教材の種類：ビデオ・DVD・接写カメラ ビデオ・DVD使用の場合：7本×3分 ビデオ・DVDの文字情報：日本語字幕もしくは中国語字幕		

教科書・参考書等	参考書 吉澤誠一郎『愛国主義の創成 ナショナリズムから近代中国をみる』(岩波書店, 2003年), 坂本ひろ子『中国民族主義の神話 人種・身体・ジェンダー』(岩波書店, 2004年)、小野寺史郎『国旗・国歌・国慶 ナショナリズムとシンボルの中国近代史』(東京大学出版会, 2011年)、丸田孝志『革命の儀礼 中国共産党根拠地の政治動員の民俗』(汲古書院, 2013年)など。その他講義中に適宜紹介する。
授業で使用するメディア・機器等	テキスト, 配付資料, 音声教材, 映像(ビデオ/PC/その他画像資料)
予習・復習へのアドバイス	第1回 近代国家が国民意識を創出するため「伝統」を新たに創造する過程を理解する。 第2回 身体装飾のもつ社会的な意義を5つの視点から理解する。 第3回 男性の弁髪と女性の髷が廃絶に至るまでの眼差しを、伝統と近代の問題の中で理解する。 第4回 纏足に込められた社会的意義と廃絶を巡る議論における眼差しを理解する。 第5回 中華民国の礼服の性格を近代化の理念から理解する。 第6回 国民のスタイルとして発展する中山服の社会的意義を理解する。 第7回 旗袍の普及の過程を女性の社会的地位・役割、儀礼との関係において理解する。 第8回 民族性を表象する民族衣装の位置づけを多民族国家の国家原理において理解する。 第9回 国民国家の権威を示す象徴の使用および清朝の使用した国旗の性格を理解する。 第10回 革命派の国旗構想、北京政府期の儀礼と国旗の象徴する理念について理解する。 第11回 以党治国の理念を示す国民政府の象徴と国旗を使用した儀礼について理解する。 第12回 日本傀儡政権の象徴の意義について、中華民国の枠組みとの関係で理解する。 第13回 中共政権の象徴の意義について、中華民国の枠組みとの関係で理解する。 第14回 中華人民共和国国旗の成立過程を、政権の理念との関係で理解する。 第15回 近代中国の文化的国民統合が直面した課題と成果について理解する。
履修上の注意 受講条件等	なし
成績評価の基準等	平常点(30%)とレポート(70%)で評価する。
メッセージ	この講義が、我々の「伝統」についても考えるきっかけとなればと思います。
その他	【パッケージ別科目共通資料掲載場所(もみじTop内)】: https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/kyouyou/package.html
<p>学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。</p> <p>回答に対しては教員からコメントを入力し、改善につなげていきます。</p> <p>なお、受講者が著しく少ない場合などに、アンケートを実施しないときがあります。</p>	

年度	2014年度	開講部局	教養教育
講義コード	51011001	科目区分	パッケージ別科目
授業科目名	社会のなかの科学[P1A,PN8]		
授業科目名 (フリガナ)	シャカイノナカノカガク		
英文授業科目名	Science in Society		
担当教員名	隠岐 さや香		
担当教員名 (フリガナ)	オキ サヤカ		
研究室の場所		内線番号	
E-mailアドレス			
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 前期
曜日時限	火 1時限, 2時限	講義室	総K203
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	講義中心、板書多用
単位	2	週時間	2
対象学生	1セメ		
授業のキーワード	STS、科学、技術、社会、コミュニケーション、倫理		
教職専門科目		教科専門科目	
関連するプログラム			
教養教育又は パッケージの中での この授業の位置づけ	第1パッケージ：社会のしくみと科学		
学習の成果	科学と技術、社会の関わりについて理解を深め、新聞等の一般向け科学記事について一定の見解を持てるようにする。		
授業の目標・概要等	科学技術社会論、もしくはサイエンス・スタディーズと呼ばれる分野の基本的な概念を紹介し、先端科学技術の事例をもとに科学・技術と社会に関わる問題について論じる。		
授業計画	第1回 インTRODクシヨン 第2回 科学者とは誰か 第3回 ノーベル賞とは何か 第4回 科学とジェンダー 第5回 科学的合理性と社会的合理性～科学と社会のコミュニケーション 第6回 環境問題(1)化学物質汚染 第7回 環境問題(2)地球温暖化 第8回 核と社会(1)エネルギー問題と原子力 第9回 核と社会(2)核燃料廃棄物問題 第10回 生命倫理的諸問題(1)臓器移植 第11回 生命倫理的諸問題(2)再生医療 第12回 脳神経倫理(1)脳科学と哲学 第13回 脳神経倫理(2)脳科学と社会 第14回 総括(予備日) 第15回 総括 学期末に試験を行う		
教科書・参考書等	教材は授業時に配布する。また適宜文献を紹介する。		
授業で使用する メディア・機器等	テキスト、配付資料、映像(ビデオ/PC/その他画像資料)		
予習・復習への アドバイス	特に予備知識は必要としないが、新聞の科学記事などをチェックしていると理解が深まる。		
履修上の注意 受講条件等	文系、理系ともにわかりやすい内容を心がける。		
成績評価の基準等	コメントペーパーとディスカッション課題(30%程度)、期末試験(70%程度)。		
メッセージ			
その他	【パッケージ別科目共通資料掲載場所(もみじTop内)】： https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/kyouyou/package.html 】		
学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。 回答に対しては教員からコメントを入力し、改善につなげていきます。 なお、受講者が著しく少ない場合などに、アンケートを実施しないときがあります。			

年度	2014年度	開講部局	教養教育
講義コード	51013001	科目区分	パッケージ別科目
授業科目名	地域の分析[P1B,PN9]		
授業科目名 (フリガナ)	チイキノブンセキ		
英文授業科目名	The Analysis of Regions		
担当教員名	FUNCK, CAROLIN・ELISABETH HANNA		
担当教員名 (フリガナ)	フンク カロリン エリーザベト ハンナ		
研究室の場所		内線番号	
E-mailアドレス			
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 前期
曜日時限	金 7時限, 8時限	講義室	総K305
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	講義形式:講義中心、受講者人数によりグループワークを行うこともある・講義のレジュメ有
単位	2	週時間	2
対象学生			
授業のキーワード	市民生活、政治経済、地域社会、空間、地域計画		
教職専門科目		教科専門科目	
関連するプログラム			
教養教育又は パッケージの中での この授業の位置づけ 学習の成果	パッケージ名:社会のしくみと科学 地域は、自然、社会、文化などからなっているので、地域の分析は専門を越えた、広い視点を必要とします。その上、地域は我々が生活する場でもあり、その仕組みとシステムを理解することはこのパッケージのなかで基本的なことです。		
授業の目標・概要等	地域を構成するさまざまな要素が互いにどう関わっているかと分析して、そこから視点を広げて、地域の働きを理解します。国際化のなかで地域の位置を確かめ、または国際比較によって地域の望ましい姿を探りたい。		
授業計画	以下のテーマに沿って、講義を行う。1回から7回までのテーマは空間分析の理論と方法です。8回から14回までは地域の望ましい姿を考えるための応用だといえます。 第1回 地域の概念 第2回 地域の概念(続き) 第3回 地域の区分 第4回 空間的な要素の測定とモデル化 第5回 空間的な要素の測定とモデル化(続き) 第6回 統計から地域の変化を読む:日本 第7回 統計から地域の変化を読む:世界 第8回 地域の強み・弱みを評価する:東広島についてグループディスカッションを行う 第9回 地域計画と地域振興:日本:全国総合開発計画 第10回 地域計画と地域振興:日本:テクノポリスの開発、リゾート開発 第11回 地域計画と地域振興:ドイツ 第12回 地域計画と地域振興:イギリス 第13回 地域と国際化:EUによる地域政策(第13回) 第14回 環境の視点からの地域づくり:ドイツのフライブルク市を事例に、環境を配慮した都市政策を考える 授業中の課題、小レポート、期末試験ある 受講者の人数や関心などに合わせて、順番と内容を変更することがある		
教科書・参考書等	参考文献は講義で指定する		
授業で使用する メディア・機器等	使用する視聴覚教材の種類:ビデオ・接写カメラ・スライド・パワーポイント		
予習・復習への アドバイス	1回から15回まで:講義中は、プリントに加えて、各自で講義を聞きながらノートにメモを書く。講義後、そのメモを自分の復習用にまとめる。 第1・2回 ノートの確認と復習 第3回 日本の地域区分について的小レポート 第4回 ノートの確認と復習 第5回 空間構造の分析について的小レポート 第6回 統計から見る日本の課題について的小レポート 第7回 ノートの確認と復習 第8回 準備:東広島についての予備知識を収集 第9-15回 ノートの確認と復習 第15回 まとめ		
履修上の注意 受講条件等			
成績評価の基準等	授業中の課題と小レポート 50% 期末試験 50%		

成績評価の基準等	ただし、受講者が少ない場合、授業中の参加を重視し、授業中の課題と小レポート 60%、 期末試験 40% に変更する場合がある。
メッセージ	
その他	【パッケージ別科目共通資料掲載場所（もみじTop内）： https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/kyouyou/package.html 】
<p>学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。 回答に対しては教員からコメントを入力し、改善につなげていきます。 なお、受講者が著しく少ない場合などに、アンケートを実施しないときがあります。</p>	

年度	2014年度	開講部局	教養教育
講義コード	51014001	科目区分	パッケージ別科目
授業科目名	核時代の科学と社会[P1B,PN8]		
授業科目名 (フリガナ)	カクジダイノカガクトシャカイ		
英文授業科目名	Science and Society in the Nuclear Age		
担当教員名	市川 浩		
担当教員名 (フリガナ)	イチカワ ヒロシ		
研究室の場所		内線番号	
E-mailアドレス			
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 前期
曜日時限	金 7時限,8時限	講義室	総K209
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	講義中心：パワーポイント、DVD映像、VHS映像、接写カメラによる実物提示を多用する。プリントを準備する。受講者数が多ければ資料集として頒布する。
単位	2	週時間	2
対象学生	1セメ(3セメ)		
授業のキーワード	・社会、・科学、・科学者、・国家、・戦争、・核兵器		
教職専門科目		教科専門科目	
関連するプログラム			
教養教育又は パッケージの中での この授業の位置づけ	パッケージ名:社会のしくみと科学 核兵器の存在は長く人類の生存を脅かしつづけてきた(そして、今もしている)、現代世界のもっとも深刻な問題のひとつである。本授業では核時代の幕開けにおける科学(者)と社会の問題を検討してゆく。この点で、本授業は、本パッケージの「社会の中の科学」ととくに強い関連を有している。		
学習の成果	本講義を通じて、現代世界に大きな影響を与えた“冷戦型科学・技術体制”に関する知識を培い、科学・技術の問題を社会事象として読み解く力を養う。		
授業の目標・概要等	現代の科学・技術のなかには、その出発点が軍事研究に由来するものが多い。この現代技術の生い立ちの“特別の不幸”はどのようにして生まれ、どのような影響を現代に与えているのか。本講義では、最近ようやく明るみに出た第2次世界大戦期の原爆開発計画を中心に解説してゆく。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス - 現代の軍事技術と民生技術、原爆開発計画研究の到達点 - 2. 第一次世界大戦と軍事技術 3. 各国における科学・技術研究の組織化 4. 原子核物理学の形成と展開 5. 原爆の構想とマンハッタン計画の全体像 6. マンハッタン計画における原爆製造の諸工程(1) 7. マンハッタン計画における原爆製造の諸工程(2) 8. 核軍拡の代償 - アメリカの場合 - 9. ドイツにおける原爆開発計画 10. 日本における原爆開発計画 11. 旧ソ連における原爆開発計画 12. 核軍拡の代償 - 旧ソ連邦の場合 - 13. 追加講義1: 受講者の反応を見ながら、ふさわしいトピックスを選んで解説する。 14. 追加講義2: 受講者の反応を見ながら、ふさわしいトピックスを選んで解説する。 15. 総括(予備日) <p>期末試験を実施する。レポートは課さない。</p>		
教科書・参考書等	資料集を準備する。各自購入し、授業に備えること。参考書として、山崎正勝・日野川静枝編著『原爆はこうして開発された-増補版-』(青木書店 1997)。その他の参考文献等はそのなかで適宜紹介する。		
授業で使用する メディア・機器等	パワーポイント、DVD映像、VHS映像、接写カメラによる実物提示を多用する。		
予習・復習への アドバイス	Web-CTに各回の授業レジュメを掲示するので、予復習に役立ててほしい。また、各回ごとに、プリント、あるいは資料集に掲げられた参考文献にも眼を通してほしい。		
履修上の注意 受講条件等	とくになし。		
成績評価の基準等	基本的には期末試験による。		
メッセージ	とくになし。		
その他	http://hiroshima-u.ac.jp/ichikawa/ 【パッケージ別科目共通資料掲載場所(もみじTop内)】: https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/kyouyou/package.html		

学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。
回答に対しては教員からコメントを入力し、改善につなげていきます。
なお、受講者が著しく少ない場合などに、アンケートを実施しない場合があります。